



## 若き経営者による 6次産業化を取り入れた法人経営

野菜経営 北野町 株式会社 カラーリングファーム  
代表取締役 榎原 憲一さん (32歳)

### 全国シェア20%を誇るラディッシュ

榎原憲一さんが社長を務める株式会社カラーリングファームは、ラディッシュを中心に、水菜、ほうれん草、スイートコーンを栽培しています。正社員8人とパート従業員を雇用し、65棟2ヘクタールのハウスと1.5ヘクタールの露地野菜の管理をしています。ラディッシュは、昭和58年に母の美智子さんが北野町で栽培を始め、現在、北野町は全国シェアの20%を占める主要な産地になっています。

### 組織力の向上

憲一さんは、大学を卒業後、1年間オランダで園芸農業を学び平成17年に就農、経営を継承しました。「大学と海外研修というわがままを叶えてくれた両親に感謝している。当時は分からなかったが、海外での経験によって経営者として成長することが出来た。」と言います。

そして、規模拡大とともに、従業員が増え、社員の家庭を守る責任が増したこともあり、平成23年に法人を設立、社会保険や給与、休日などを整備しました。現在、他の農業法人との人事交流を行うなど人材育成に力を入れるとともに、経営者として経営力を磨くために、セミナーなどで熱心に勉強しています。

また、憲一さんは、「経営理念を整理し、従業員と同じ方向性を共有化することで組織力を高めたい。」と語ってくれました。

### 6次産業化への挑戦

さらに、規格外品を活用した無添加の「ラディッシュの酢漬け」が完成。青果と組み合わせた経営により、ラディッシュのファン作りに積極的に取り組んでいます。

